

第3期総合戦略数値目標設定シート

第3期総合戦略体系				第3期総合戦略の数値目標(案)							
戦略目標	施策の柱	施策の方向性	重点施策	数値目標の名称	単位	基準値	測定年次	目標値2029(R11)	指標設定の考え	目標値設定の考え	
①未来を支える「ひと」づくり (子育て・教育)	1. 結婚・妊娠・出産	(1)出会いの機会の創出	出会いの機会の創出	婚姻率(人口千人当たりの婚姻件数)	%	8.9	R4 (2022)	9.5	厚生労働省が婚姻率の計算方法(年間の婚姻件数/人口×1000)を明記しており、国でも使用している指標である。人口減少対策という総合戦略の趣旨を踏まえ、自然減との関連が強いと考えられる本指標が数値目標として適していると考え設定する。	過去5年間の指標の推移としては、平成30:9.7、R元:10.5、R2:8.9、R3:9.1、R4:8.9であり、5年間の平均は9.4である。今後の人口減少も加味し、過去5年の平均を目標値として設定する。	
		(2)妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援	妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援								
	2. 子育て	(1)子育て家庭を支える環境づくり	子育てを学ぶ場の充実	保育所等利用待機児童数(累計)	人	0	R5 (2023)	0人維持	保育を必要とする児童に対し、保育を提供できていることが、子育て家庭を支える環境として重要であると考え。保育所等利用待機児童数は保護者の主観によらない、客観的に判断できる指標であることから指標として適していると考え設定する。	子育てをしやすい環境が引き続き維持されていくことが重要であるという考えから、待機児童数0人の維持を目標値として設定する。	
			子ども・子育て家庭への支援の充実								
			保育サービス・幼児教育の充実								
		(2)地域ぐるみの子育て支援体制の強化	地域ぐるみの子育て支援体制の強化								
	3. 教育	(1)「たくましく生き抜く力」の育成	確かな学力の育成	教科担任制を実施している学級ごとの教科の割合	%	64.3	R5 (2023)	68.0	学力向上について、教科担任制を文部科学省が推奨していることを踏まえ、国の推奨する施策を推進し、教育環境を整備することにより向上する本指標が、本市の「教育」に関する取組の進展を測る指標として適していると考え。	過去4年の指標の推移は、R2:58%、R3:65%、R4:69%、R5:64%となっており、4年間の平均は64%である。4%の上昇を目標値として設定する。	
			体験学習の充実								
			豊かな心と健やかな体の育成								
		(2)一人ひとりに寄り添うきめ細かな教育の推進	一人ひとりに寄り添うきめ細かな教育の推進								
			(3)家庭・地域・学校の連携による教育の充実								地域資源を活用した教育の充実
											青少年育成活動の推進
家庭教育の支援											
②いきいきと働ける「しごと」づくり (産業・雇用)	1. 産業	(1)工業の振興	企業の誘致と競争力向上	市の各種支援制度の活用件数(高度化や生産性向上に資する投資)	件	126	R5 (2023)	135	「ものづくりのまち」である本市において、高度化や生産性向上に関する投資が活発に行われていることが、「産業・雇用」の進展につながると考え、その状況を測るため、本指標を数値目標として設定する。	市で実施する下記の支援事業をカウントする。 ・ものづくり高度化支援事業 ・中小企業DX推進事業 ・中小企業新ビジネス展開支援事業 R11は、R5から10%程度の増加を目指し、9件増を目標値として設定する。 126件(R5)+9=135件	
			ものづくりの高度化と生産性向上								
			持続可能なものづくりの推進								
		(2)商業等の振興	商業・サービス業の発展								
			起業やスタートアップ支援の充実								
			農地の効率的な利用と担い手の育成支援								
	2. 雇用・就労	(1)雇用・就労	雇用対策の強化	市主催企業説明会のマッチング件数(年間)	件	994	R5 (2023)	1,000	雇用・就労に関して、人材確保は毎年必要であり、市主催企業説明会のマッチング件数を現状維持以上の数値で安定的に継続していくことが重要であると考え、数値目標として設定する。説明会の規模や回数を増やすことで、指標の向上を図る。	今後、人口減少が見込まれる中、現状以上のマッチング件数を安定して維持していくことが重要と考え、目標値を1,000人と設定する。	
			(2)多様な人材の活躍促進								多様な人材の活躍促進
		3. 人材育成	(1)次世代を担う人材の育成支援	次世代を担う人材の育成支援	セミナー等の参加企業数(年間)	社	30	R5 (2023)	50	様々なテーマを取扱ったセミナーを開催し、1回あたりの参加数増を目指す。人材育成・定着をはじめとした、様々なテーマのセミナー参加企業の増加を測る本指標は、「人材育成」の進展を測るための数値目標として適していると考え。	1回あたりのセミナー参加者数の増加を目指すこととし、5年で20人増加を目標値として設定する。
				農産物の生産支援							
				農地の効率的な利用と担い手の育成支援							
				農産物の生産支援							

第3期総合戦略体系				第3期総合戦略の数値目標(案)						
戦略目標	施策の柱	施策の方向性	重点施策	数値目標の名称	単位	基準値	測定年次	目標値2029(R11)	指標設定の考え	目標値設定の考え
③魅力と安心の「まちづくり」(魅力向上)	1. 魅力向上	(1)市民協働によるまちづくりの推進	対話によるまちづくり	まちづくりミーティング開催回数(累計)	回	146	R5(2023)	238	市政に対して市民の声が活発に寄せられている状況が、本市の魅力向上につながることを考え、その状況を測ることができると考え、本指標を設定する。	これまでの実績をもとに(参考:R4で11回)、1年間に15回開催を目標として設定する。
			協働によるまちづくり							
まちづくりの担い手支援										
自治会の活性化										
地域活動への参加促進										
(2)文化芸術・スポーツ活動の充実		多様な生涯学習機会の創出と学びの成果の活用								
		文化芸術活動の充実								
		文化財等の保存と活用								
		スポーツ機会の創出								
		地域スポーツ活動の推進								
(3)持続可能なまちづくり		健康寿命の延伸								
		一人ひとりの自主的な健康づくりの促進								
		多文化共生の推進								
2. 安全・安心	(1)安全・安心なまちづくり	災害対応力の強化	防災推進員の活動者数(累計)	人	126	R5(2023)	150	全国的に災害の発生が増加していることから、災害対応力を向上させることが、「安全・安心」の分野において最も重要であると考え、地域の災害対応力と捉えることができる本指標により進捗を測ることとする。	過去5年間の指標の推移は、R元:105名、R6:126名であり、5年間で21名増加している。この実績を踏まえ、年間4人の増加を目指して目標値を設定する。	
		地域防災力の向上								
		交通安全意識の啓発と交通安全教育の推進								
		救急・救助体制の充実								
		各種相談窓口体制の充実								
		空き家の利活用と適正管理の推進								
		防犯活動の推進								
	(2)良好な生活環境の整備	公共交通ネットワークの維持								
		適正な土地利用の推進								
		魅力的なまちの創出								
		公園の活用と緑化の推進								
		生涯学習・文化・スポーツ施設整備の推進								
④人の流れを生み出す「にぎわい」づくり(発信・誘客)	1. 発信・誘客	(1)シティプロモーションの推進	シティプロモーションの推進	観光入込客数(年間)	万人	602	R5(2023)	606	シティプロモーション、観光施策を推進することは、観光で本市を訪れる人の増加につながると考えられることから、市観光施設、イベント等への来訪者数の合計である本指標を「発信・誘客」の数値目標として設定する。	現状数値(令和5年)602万人から、下記の要因を考慮し、5年で4万人程度の増加を目指す。 プラス要因 ・コロナ禍から通常に戻ったことによる回復 ・空宙博新企画の完成による増員 マイナス要因 ・イベントの精査による減少 ・人口減少に伴う交流人口の減少
			(2)観光資源等の活用と効果的なPR							
		広域観光連携の推進								
		岐阜かかみがはら航空宇宙博物館の充実								
2. 連携・交流	(1)自治体間の連携の推進	自治体間の連携の推進	協定を締結した自治体数(国内)(累計)	自治体	8	R5(2023)	10	さまざまな分野で連携した自治体の数が、自治体間の連携強化につながると考えられることから、協定を締結した自治体数の増加を数値目標として設定する。	これまでの件数の推移を確認し、R元:6、R2:6、R3:7、R4:8、R5:8と推移していることから、今後5年間で2自治体との協定締結を目標とする。	